

# ぱーとなー



ひとひと  
男と女がお互いに  
人権を尊重し

共に語りあい  
共に認めあい  
共に支えあう

No. **10**

2018年  
2月23日発行

発行 さばえ男女共同参画ネットワーク

ひとひと  
**女と男  
輝くさばえフェスタ**

12月3日 郷陽会館

「認め合う個性を活かす思いやり」  
2017

## テーマ

自分をすり減らさない生き方  
～ストレス社会の中で  
がんばるすべての人へ～



講師 深澤 真紀 氏  
獨協大学特任教授・コラムニスト

朝の情報番組「とくダネ」でおなじみの深澤真紀氏の講演は、「男らしさ 女らしさにこだわらない若者」「女性活躍とは家事も仕事も育児も介護も女性がやること？」など、これまでの私たちの常識から一歩目線を変えた生き方のヒントを頂きました。私たちが感じている、「うまくいかないこと」や「許せない人間関係」「は「仕方ない」と考えることが大切。ベストを選択するのではなく、少しでもグッドや「まし」を選び、自分が機嫌よく生き、自分をすり減らさない、自分らしく生活していくことが必要だと話されました。女と男との個性を認めあう関わり合い、これからのネットワーク活動に活かしていきたいでしょう。



かぼちゃの種のブローチ作り



やしき踊り (オープニング)



積み木とガラレールで  
子供も大人も夢中



クリスマスリース作り



であい汁 (豚汁)



男性のための  
一生使えるオシャレの戦略



福井国体カウントダウンボード除幕式



パフォーマーかつやの  
ジャグリングショーと風船配り



ネットワーク加盟団体活動展

## 朗読劇による啓発活動

さばえ男女共同参画ネットワークでは、男女共同参画社会実現に向けて毎年テーマを替え、日々の生活に潜む男女の役割分担などについての気づきの促進を目的にコミカルな朗読劇を披露しています。

今年度は「イクメン・イクジイ・イクボス 誕生」と題して赤ちゃんの誕生をきっかけに、父親やおじいちゃんの育児参加、職場の上司・同僚の育児協力を盛り込んだ朗読劇を市内3ヶ所で行いました。

イクジイとは？

孫育てに積極的にかかわる高齢者世代の男性



イクボスとは  
男性の従業員や部下の育児参加に理解のある経営者や上司のことです。



会社での出来事

安心して下さい！



新米パパ・ママ講座に参加  
妊婦の疑似体験してきました。



8月いっぱいお休みをもらいます。どうぞよろしくお願います。

来年度（平成30年度）も朗読劇による男女共同参画の啓発活動を行います。各地区や団体の活動でコミカルな朗読劇はいかがですか？ご要望があればさばえ男女共同参画ネットワーク（市民まちづくり課 TEL 53-2214）へ連絡ください。



11月19日(日) 家の光クッキングフェスタ JA たんなん本店

JA たんなん女性部大会 家の光クッキングフェスタでは、200名以上の来場者の中で笑いが出る朗読劇の披露ができ、男性の育児参加の必要性を楽しくPRできました。

【他】10月8日(日) さばえ食と健康・福祉フェア 2017 響陽会館  
10月29日(日) 豊地区文化祭 豊公民館

## 女と男輝くさばえフェスタ2017 PR活動

女と男輝くさばえフェスタ2017の広報活動で、丹南ケーブルテレビに出演しました。

フェスタ当日は、たくさんの方々の来場がありました。



## さばえ男女共同参画ネットワーク視察研修

7月16日(日) 参加者42名

さばえ男女共同参画ネットワークの活動を有意義なものにするために、海上自衛隊 舞鶴地方隊や舞鶴引揚記念館などで視察研修を行いました。

日本で2番目に大きい護衛艦「ひゅうが」。その中で活動する自衛官は約300人。そのうち女性は20名。2人の女性自衛官にお話しをお聞きしました。「特に男女の差を感じることはない。訓練事業内容も男女同じ。何かあるとすれば男女の体格差による体力的な面ぐらい。」と笑顔でお話下さいました。また、30年以上勤務されている方からは、「もともと地元の舞鶴市在住で、海上自衛隊に入隊。結婚（海上自衛隊同士）後は・出産・育児全てにおいて、実家の親の協力なしでは勤められなかった。子供にもさみしい思いをさせた。でも、仕事は楽しかった。」と振り返っていました。



お子さん2人（男性）も海上自衛隊へ入隊され、「子供も素晴らしい仕事だとわかってくれた。」と、うれしそうに話されていました。

お子さん2人（男性）も海上自衛隊へ入隊され、「子供も素晴らしい仕事だとわかってくれた。」と、うれしそうに話されていました。



# 牧野鯖江市長と語る百聞百見ふれあい談論

平成 29 年 12 月 18 日 (月) 19:00 ~ 21:00  
夢みらい館・さばえ 収録

市長を夢みらい館・さばえに迎え、さばえ男女共同参画ネットワーク理事 14 名で、菅原藤理アナウンサー司会のもと、たんなん夢レディオの番組収録が行われました。

第 1 部「現在までの男女の役割等について」、第 2 部「男女共同参画の今後について」の 2 部構成でざっくばらんに思いを発言し合いました。さばえ男女共同参画ネットワーク加盟団体内での、男女共同参画の推進状況や過去から現在の変化などの意見が出されました。鯖江の男女共同参画、女性活躍はどうしたらよいか?との市長の問いかけに、女性の意識や男性の協力・理解だけでなく、家族・地域の理解や協力が不可欠という意見がだされました。



市長からは、これからの女性活躍社会鯖江についての熱い思いをお聞きし、市民だれもが、活躍できる「居場所」と「出番」をつくることを目指すとの言葉に、男と女が互いに人権を尊重し 共に語りあい 共に認めあい 共に支えあう社会となるよう、さばえ男女共同参画ネットワークも一丸となって、活動していこうとの思いを共有しました。



## 鯖江市男女共同参画地域推進委員会 活動レポート

市の委嘱を受けた 25 名の委員が「地域における男女共同参画の推進」「男女共同参画による魅力あるまちづくり」をテーマに男女がともに個性や能力を発揮できる社会の実現にむけた事業を企画・運営しています。

### <全域団体部会：市内全域で公的な活動をする 8 つの団体>

過去に鯖江市ワーク・ライフ・バランス賞を受賞した 8 社へ、アンケートを実施しました。

- ・受賞後、女性は育休や時短勤務がやり易くなった。
  - ・男性は職場環境や所得を考えると育児休業は取りにくい。
- ※男性の育児休業制度活用には、職場の理解、男性自身の育児に対する意識、男女で子育てする組織風土が求められていることが分かりました。

### <西部会：鯖江・神明・立待・吉川・豊>

(特活) まちの防災研究会 理事長 松森 和人氏  
「地域は私たちの手で守ろう」と題して講演会とワークショップを行いました。

※地域防災における男女共同参画に求められるものは「避難力」! 安全な場所・安心できる状態に避難する為には、ご近所力 = 互近助力が大切!! と認識しました。



### <東部会：新横江・中河・片上・北中山・河和田>

昨年のアンケートをもとに 5 地区公民館のヒアリングを実施しました。

- ①女性の参画を歓迎しているが、手を挙げる女性が少ない。
  - ②女性はリーダーになりたがらない。
  - ③グループの高齢化で世代交代が課題
- ※今後活躍する女性の代表から秘訣を探っていきます。



## 平成30年度 行事予定

- ・「さばえ男女共同参画ネットワーク総会」  
4月28日(土) 夢みらい館・さばえ
- ・「ふくいきらめきフェスティバル2018」  
6月23日(土) 永平寺町
- ・「全国 OC サミット in 鯖江」  
9月 8日(土) 鸕陽会館
- ・「女と男輝くさばえフェスタ2018」  
12月 2日(日) 鸕陽会館
- ・「夢みらい館・さばえフェスタ」  
2月24日(日) 夢みらい館・さばえ

## 全国 OC サミット in 鯖江

開催日 2017 年 9 月 2 日 (土)  
会場 鯖江市鸕陽会館



県内外から地域力の高いまちづくりに取り組んでいる元気に輝く女性“おばちゃん「OC」”と、女性の社会参画を支える“おんちゃん「OC」”総勢 170 名が集い、第 2 回目となった全国 OC サミットが開催されました。

大阪国際大学准教授 谷口真由美氏による女性リーダー発掘に関する講演と、福井大学国際地域学科講師 田中志敬氏のコーディネートによるまちづくりに関するワークショップ・パネルディスカッションを行い、「OC」パワーみなぎるサミットとなりました。

全国 OC サミット鯖江 2017 を通して「参加」から「参画」への主体性を引き出す必要性や、リーダーとなる女性や若者、そしてリーダーを周りから支える人を増やす必要性を実感しました。

仕事と暮らしのグッドバランス!

# ワーク・ライフ・バランス賞

## 3事業所、2個人が受賞

市では、男女共に働きやすい職場を目指し、ライフステージの変化にも柔軟な取り組みを行っている企業・団体、仕事・家庭・地域活動・趣味など生活のバランスを図りながらいきいきと輝いている個人を表彰しています。平成29年度は、以下の3事業所2個人が受賞しました。



左から、栗山祐子さん、吉村明美さん、(株)ウォンツジャパン様、(株)ヨシケイ福井様、(社)光道園様

### 【受賞事業所】

#### 株式会社 ウォンツ・ジャパン

SNSやスカイプを活用するなどIT企業の特性を活かした勤務態勢でワークシェアリングを実践している。

従業員の子育てや介護のニーズに対し、長期休暇中の特別時短や休憩時間の変更など、家庭状況に柔軟に対応するなど、常に社員の状況に合わせた働きやすい職場環境整備に取り組んでいる。



#### 株式会社 ヨシケイ福井

男性の育児休暇取得実績もあり、社員の相談窓口を設置して看護休暇や休日の調整等、両立支援に努めている。

また、「誕生日休暇」や「子・孫参観日」など、家族の理解や協力を得るための独自の取り組みを実施し、家族を含めた従業員とのつながりを大事にしている。



#### 社会福祉法人 光道園

事業所内に保育施設を設置し、夜勤者のための夜間保育や長期休暇中は小学校6年までの学童保育を実施している。

15分単位で取得可能な看護休暇や、家庭の事情により一旦は契約社員となっても、いつでも正規職員に復帰できる制度を設け、安心して働き続けることが出来る環境整備に努めている。



### 【個人受賞（敬称略）】

#### 栗山 祐子

坊守を勤めながら、「夢みらい館・さばえ」の指定管理者「夢みらいWe」の会長として男女共同参画推進、女性リーダーの育成やまちづくりに取り組んでいる。

また、鯖江市人形浄瑠璃「近松座」の事務局長、三味線伴奏者としても活動を支え、常に多くの仲間と共にいきいきと楽しく笑顔で活躍している。

#### 吉村 明美

自宅の整骨院で働きながら、家事・ボランティア・趣味の吹奏楽にと時間をやりくりしつつ、鯖江市OC課を立ち上げて、次々と新しいアイデアに挑戦している。

また、女性初となる鯖江中学校PTA会長や、市PTA連合会会長を初め、鯖江市教育委員長や、さまざまな要職・団体の長を務めるなど、多岐にわたる分野でいきいき活動している。

#### 平成29年度 さばえ男女共同参画ネットワーク委員名簿

役職名	団体名	理事名
会長	鯖江市男女共同参画地域推進委員会	齋藤 啓子
副会長	夢みらい館・さばえ利用者連絡協議会	中宮 正信
副会長	(認特) さばえNPOサポート	八田 登師男
副会長	鯖江市人権擁護委員会	堀江 一男
会計	鯖江市愛育会	水嶋 栄子
事務局	夢みらいWe	内藤 雅子

#### 広報委員会

役職名	団体名	理事名
委員長	退職公務員連盟鯖江支部	熊野 儀一
副委員長	鯖江市民生委員児童委員協議会連合会	笹川 善弘
	鯖江市区長会連合会	小嶋 重治
	JAたんなん女性部	鷺田 晴美
	鯖江市連合女性会	山内 道子
	鯖江市老人クラブ連合会	藤本 澄子

#### 研修委員会

役職名	団体名	理事名
委員長	鯖江地域ファミリーサービスクラブ	中村 靖子
副委員長	鯖江市男女共同参画地域推進委員会	菅原 誠
	鯖江市農村主婦会議	上田 八重子
	鯖江市赤十字奉仕団	片山 フサ子
	鯖江市PTA連合会	服部 寿彦

#### フェスタ委員会

役職名	団体名	理事名
委員長	福井県民生活協同組合	坂本 和也
副委員長	鯖江市母子寡婦福祉連合会	菊野 琴枝
	ソフィアさばえ	鴨池 恒子
	鯖江市やんしき保存協会	坪内 利正
	鯖江市壮年グループ連絡協議会	山内 稔
	(認特)エコプラザさばえ	友永 美千代

#### 平成29年度 活動報告

月 日	事業内容	開催場所
4月 22日(土)	平成29年度さばえ男女共同参画ネットワーク総会	夢みらい館・さばえ
6月 11日(日)	ふくいきらめきフェスティバル2017	福井県生活学習館(ユニー・アイふくい)
7月 16日(日)	視察研修 海上自衛隊 舞鶴地方総監部 他	舞鶴方面
9月5-6日(月・火)	市議会傍聴(延べ37名)	鯖江市役所
10月 8日(日)	朗読劇/さばえ食と健康・福祉フェア2017	鯖江市嚮陽会館
10月 29日(日)	朗読劇/豊地区文化祭	豊公民館
11月 19日(日)	朗読劇/家の光クッキングフェスタ	JAたんなん本店
12月 3日(日)	女と男輝くさばえフェスタ2017 演題:自分をすり減らさない生き方 ～ストレス社会の中でがんばるすべての人～ 講師:深澤 真紀氏	鯖江市嚮陽会館
12月 18日(月)	市長と語る百聞百見ふれあい談論	夢みらい館・さばえ
2月 11日(日)	新春のつどい	富士屋会館
2月 23日(金)	情報紙「ぼーとなーNo.10」発行	

#### あ と が き

さばえ男女共同参画ネットワークは平成20年に設立されて、今年5月で10年の節目となります。本情報誌「ぼーとなー」も第10号となりました。フェスタでは、私たちの時代とは違う現在の若者像や女性像を講師のユニークな視点から学びました。また、視察研修では女性の活躍を目の当たりにし、「ふれあい談論」では市長とのこれからの鯖江市の男女共同参画を目指す指針を感じることができました。男女共同参画ネットワークは、様々なイベント等を通して、今後も情報発信を続けていきます。



※この情報紙は、(公財)ふくい女性財団からの助成を受けています。